

モデルとなる「データヘルス計画」の概要

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
愛鉄連 健康保険組合 (機械器具製造業)	総合	56,272	33.3	544	9.96%	73.0%	43.7%	<p>専門家のコンサルティングを受け、性・年代別による精緻な分析を行い、真の健康課題を突き止める。</p> <p>また、コラボヘルスによる保健事業や健康づくり活動が、事業所において円滑に行われるように、健保組合が事業所ごとの健康課題等の抽出を行い、それに応じた健康づくり活動の推進(全事業所訪問)と環境整備を行っていく。</p>
azbilグループ 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	17,733	35.7	7	8.49%	84.5%	20.5%	<p>当健保組合は40歳以上の男性増加に伴い、生活習慣病(特に高血圧)罹患者が年々増加している。</p> <p>特に勤務地別分析にて藤沢事業所の高血圧者割合の高さが目立つことから、原因を探るべく環境調査を実施し、実施後調査データに基づき検討し、計画の上、藤沢事業所における高血圧者改善に向け、事業主と連携し職場環境整備を実施する。</p>
内田洋行 健康保険組合 (卸売業)	単一	7,087	43.4	30	10.73%	86.9%	13.7%	<p>平成25年度解析で抽出した、血糖・血圧・脂質・透析におけるハイリスク者101名を中心に、会社の協力を得た上で、保健師が介入を行い、その結果を評価する。</p> <p>また、ICTを活用した先進的な保健事業である『健康マイポータル(仮)』を導入し、対象者への受診勧奨・医療機関への受診確認ができる仕組みを構築・実証を行う。</p>
エスアールエル グループ 健康保険組合 (その他のサービス業)	単一	13,123	34.9	21	9.40%	83.8%	62.1%	<p><事業1:データ分析及び計画策定・施策実行管理> レセプト・健診情報と事業主からの情報による分析と医療費高リスク者を集中的にケアする。</p> <p><事業2:組織健康スコアの構築と試行> 組織ごとのスコア化による尺度の固定と客観的比較を行う。</p> <p><事業3:夫婦健康プログラム> 夫婦同時プログラムで、効果の最大化と持続性を検証する。</p>
SGホールディングス グループ 健康保険組合 (運輸業)	単一	116,238	28.6	18	10.00%	79.3%	5.3%	<p>加入者の健康の保持、疾病予防、重症化予防のための行動変容を目的に、レセプトや健康診断の情報を分析し、当グループの健康課題を明確にしていく。</p> <p>特に喫煙に関連する医療費分析は重点的に明確にし、問題点を見える化していきたいと考えている。</p>
エプソン 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	38,873	29.6	22	8.40%	90.2%	59.0%	<p>母体と大学で共同研究を進めてきた「脈拍計を使った運動指導」を、先進的保健指導と位置付け、データヘルス計画で実践して、重症化予防のため「軽度の心筋梗塞及び脳梗塞」の既往症を持つ対象者に実施してゆくこととした。</p> <p>また更なるデータ分析を行い母体と検討委員会を設置し、効果的な保健事業の見直しを進める。</p>
エルナー 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	1,404	30.97	2	9.20%	74.8%	62.0%	<p>レセプト及び健診データの分析を定期的・継続的に行い、医療費関連情報より検査値改善者数、未治療者数、問題受診者数等の推移、変化を把握し、目標値との比較を行う。目標値との乖離が大きい場合は原因を分析し、対策の実行に努める。</p> <p>また、健康管理事業推進委員会等から保健事業の課題を把握し、運営方法の改善に努める。</p>

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
大阪金属問屋 健康保険組合 (卸売業)	総合	21,390	34.6	266	9.80%	60.7%	21.7%	データ分析、結果の整理、課題抽出、対策の立案に係る作業を委託して実施、その成果をもとに「データヘルス計画」を策定する。 被保険者の半数近くが30～40歳代であり、その被扶養者を中心とした「ぜんそく健康支援プログラム(改良型)」を実施し、患者QOLの改善と医療費適正化の促進を目指す。
大阪読売 健康保険組合 (情報通信業)	単一	6,831	34.3	19	7.60%	65.2%	3.7%	過去5年間のレセプトと各種健診データから重症化予測と健康評価のモデルを作成する。 分析・保健指導事業者と高リスク者を絞り、保健指導を行う。 加入者に現在の健康状態と将来の疾病リスクがひと目で把握できる「健康評価書」を配布する。 加入事業所には従業員のリスク傾向を通知して、実情に応じた“健康施策”の実施を勧める。
オートボックス 健康保険組合 (卸売業)	単一	5,659	29.1	13	7.80%	67.7%	9.9%	健康リスクにより加入者を4ゾーンに階層化し、 ブラック:突然死防止、 レッド:重症化防止、 イエロー:発症防止、 グリーン:健康風土醸成、 に向けた取り組みを実施する。 特に、突然死防止対策は、心筋梗塞・脳卒中の発症リスクが高く、かつ未治療あるいは治療中断者への対策については先進事業として取り組む。
花王 健康保険組合 (化学工業・ 同類似業)	単一	31,359	34.16	15	8.24%	84.5%	53.1%	①健康データ分析: 健診・問診・医療費のクロス統計に健康意識を組み合わせた分析を行い、対象者の層別化を行う。(例:生活改善意識の高い動機づけ支援者等) ②計画: 層別化した対象者に適切な保健事業(保健指導や、健康づくりイベント等)を設定する。 ③実行: 事業主と共同し、データヘルス計画を実行する。 ④評価: 実行内容を評価基準に基づき評価する。
カリモク 健康保険組合 (木製品・ 家具等製造業)	単一	3,350	35.5	9	9.50%	77.9%	11.6%	事業主と健康課題を共有化するため、経営者、幹部等に対し、分析データを用いた講演会をキックオフセミナーとして企画、全社的な取組みとして推進する。 生活習慣病の重症化防止、発症予防に重点をおいた保健事業を実施するため、特定健診データを分析してスムーズに対象者を抽出して事業につなげ、効果評価を行う。
北関東しんきん 健康保険組合 (金融業、保険業)	総合	11,544	33.6	22	10.00%	76.0%	6.8%	外部専門業者を活用し、レセプト・健診データを分析し、費用対効果を考えた保健事業を実施。計画策定時に目標値を設定し、効果の検証を行う。 当健保組合では「糖尿病重症化予防事業」を重点として、その他の保健事業の実施検討を行う。 事業主との連携を強め身の丈に合ったコラボヘルスを行う。
九州電力 健康保険組合 (電気・ガス・熱供給・ 水道業)	単一	61,277	31.5	39	9.80%	67.7%	60.4%	レセプト・健診解析結果や九州の地域性(人口当りの人工透析患者が多い)を鑑み、人工透析・糖尿病重症化予防を中心とした計画を策定。 また、糖尿病ハイリスク者に対する「糖尿病疾病管理事業」や事業所毎にリスク者が偏在するため、事業所単位で生活習慣病予防や禁煙推進事業の実施など、実効性の高い保健事業を検討。

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
近畿日本 ツーリスト 健康保険組合 (その他の サービス業)	単一	16,213	33.8	28	7.60%	80.8%	33.4%	昨年健診データとレセプトデータの突合分析を実施し、階層別や事業所ごとのリスク状況を把握。緊急度に応じた優先順位を判断し、 ①特定保健指導除外者【服薬など】、 ②過去3年間の健診データによる高リスク保持者、を対象とした新たな保健事業を実施予定。 加えて、全般的なポピュレーションアプローチを強化することで加入者への気づきを促したい。
グラクソ・ スミスクライン 健康保険組合 (化学工業・ 同類似業)	単一	9,071	男性 43.12 女性 38.11	3	7.00%	85.5%	65.8%	健診結果による健康リスクとレセプト結果による通院状況を階層化し、加入者全ての位置を見える化し、階層ごとの対策を計画実行する。 特に、男性の体重と腹囲を年代別に分析した結果、最も脂肪を蓄積するのは30代であると判明したため、かけだしメタボ(35歳未満のメタボ該当者)への早期介入を先進事業として取り組む。
コーセー 健康保険組合 (化学工業・ 同類似業)	単一	13,225	33.6	14	9.30%	76.5%	24.7%	事業主(人事部+保健師)・労組・健保組合でプロジェクトチームを構成して計画を策定し、効率的な保健事業運営を目指す。 当健保組合は、健診結果やレセプトだけでは特徴を把握することが難しい20代30代の女性加入者が過半数を占めている。(若年層はデータ上は健康に見えるがちである) 従って「事業主や保健師から得られる健康課題」も参考にして計画立案を行なう。
サノフィ・アベンティス 健康保険組合 (その他の製造業)	単一	8,449	32.2	13	7.30%	85.8%	46.7%	生活習慣病の悪化の流れを正常へと逆転させるために、経営陣と職種・地域による健康格差データの特徴を共有し、それぞれの職種、地域に応じた健康意識を向上させ、セルフケア文化の醸成を図る。 平成26年度を健康3ヵ年計画のスタート年として、データ分析に基づき平成27年度以降の効果的プログラムを確立する。
ジェイティービー 健康保険組合 (その他の サービス業)	単一	37,012	33.7	75	8.00%	82.0%	58.8%	昨年度に継続加入者医療費分析(平成23年度～平成24年度)を行ったが、40歳以上の被保険者の中に生活習慣病でありながら受診していない方が多数いた。 従来より事業主側の健康管理部門とは連携が緊密であり、このリスク者に対し健保組合と産業保健双方から受診勧奨を行い治療に結びつけ重症化を予防することをテーマとした。
塩野義 健康保険組合 (化学工業・ 同類似業)	単一	11,055	42.0	3	7.40%	81.2%	35.9%	事業主からの「シオノギ健康宣言2014」と健保組合のインセンティブ制度により従業員とその家族の健康意識を高め、ポピュレーションアプローチ(労働生産性の向上含む)と重症化予防施策を健康管理事業推進委員会を中心にPDCAを回して推進する。
人材派遣 健康保険組合 (労働者派遣業)	総合	405,369	35.2	318	8.70%	68.8%	7.6%	レセプトと健診データを分析し対象者を選定。 対象者にはリスクに応じたオリジナルシートを送付し、架電(平日夜間・土曜)による保健指導を実施している。 過去データの分析により、リスクが高い者ほど重症疾患の発症率が高いことが判明しており、重症疾患発症率抑制の計画を策定し、医療費適正化を目指す。

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
ジョンソンエンド ジョンソン 健康保険組合 (医療、福祉)	単一	11,282	28.4	4	9.00%	83.9%	67.3%	若年層(30歳以上)からの特定保健指導を継続実施し、従来の参加率から改善率を重視したプログラムを作成し、評価に結び付ける。 また、健診等のデータ分析に基づく、医師による受診勧奨者への重症化予防対策及びレセプト分析に基づく医師の介入による重症化対策を実施する。
住友不動産販売 健康保険組合 (不動産業、 物品賃貸業)	単一	6,072	28.32	2	5.04%	85.7%	46.2%	レセプト管理・分析システムおよび健保組合独自の分析システムを活用し、年齢別・疾病別医療費分析を実施。 糖尿病対策および若年者を対象にした早期対策を喫緊の課題とし、対象者の健診結果と年齢に応じて、3種類の保健事業(重症化予防、受診勧奨、若年者向け保健指導)を実施することを予定している。
仙台卸商 健康保険組合 (卸売業)	総合	6,805	34.0	79	10.40%	64.7%	9.6%	異業種による地域型総合健保組合として従来より母体である協同組合・大学と連携し健康増進事業を実施する。 今回は複合分析に加え大学の研究成果を活かした課題抽出、コラボヘルスの施策を立案する。 先進的保健事業では ①個人属性に合わせた健康情報提供 ②若年層にウェアラブル機器を活用した保健指導 ③事業所別に課題抽出と情報提供を行う。
総合警備保障 健康保険組合 (その他の サービス業)	単一	27,135	28.5	3	8.70%	81.1%	31.0%	保健事業コンセプトとして「前回より良い健康状態で健診をむかえる」を掲げ、 (1)健診前に実施する生活習慣改善型キャンペーンによる健康状態の改善事業、 (2)事業主との連携で実施する重症化予防のための受診勧奨事業を主な保健事業とし、行動目標および成果目標に基づく評価・見直し計画を策定する。
大和ハウス工業 健康保険組合 (建設業)	単一	89,045	43.5	43	7.90%	79.5%	50.9%	当健保組合では特例退職被保険者制度を導入しており、従来より実践指導を取り入れた2泊3日の「シルバーエイジ健康管理セミナー」を行ってきたが、「データヘルス計画」の策定にともない今後はデータ分析を活用してPDCAのサイクルにより、さらに効果の上がる事業として前期高齢者の医療費を削減したい。
大日本住友製薬 健康保険組合 (化学工業・ 同類似業)	単一	12,195	31.4	8	6.30%	82.6%	59.1%	<計画策定> 継続的な保健事業運営を基本方針として、事業主、委託会社と計画策定する <保健事業> ①ポピュレーションアプローチ ・健康ポイント、・情報提供書発送 ②中・低リスク者アプローチ ・若年からの特定保健指導 ③ハイリスクアプローチ ・医療機関受診勧奨、・生活改善を目的とした保健指導
武田薬品 健康保険組合 (化学工業・ 同類似業)	単一	23,189	31.8	18	6.88%	77.0%	48.8%	健康・医療・保健事業データについて、健保連システムと医学・統計の専門家等を活用して分析する。 服薬者・若年者・非肥満者を含む高リスク層～健康層の健康度に応じた個別及び包括的な生活習慣病対策・保健事業を健保内保健師及び外部業者を活用し、事業主と連携しながら、PDCAサイクルにより中期的に実施する。

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
デンソー 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	157,817	32.0	54	8.20%	82.5%	30.8%	毎日飲酒かつ生活習慣病リスク者が対象。 応募者が節酒目標を立て、SAS(睡眠時無呼吸症候群)簡易検査機を使用。 節酒時の睡眠の質を自覚を促し、適正な飲酒量になるよう支援。 併せて健診・レセプトデータと突合することで飲酒習慣と循環器系疾患の発症や関連性について分析し、飲酒習慣の変化と健診データの改善について検証を行う。
東京海上日動 健康保険組合 (金融業、保険業)	単一	55,150	34.9	40	7.60%	83.5%	48.3%	健保組合・事業主それぞれが有するデータを一元的に集約し、レセプト・健診データに従業員の生産性関連データを加味した多面的な分析によるリスクの階層化、介入ターゲット選定を行う。 健康経営の視点に立った事業主毎との連携(コラボヘルス)の推進により、健康と生産性の両面から事業主の実態に即した計画策定を行う。
東京都 情報サービス産業 健康保険組合 (情報通信業)	総合	339,938	31.8	1,398	8.90%	71.5%	27.7%	平成24年度より60歳以上のハイリスク者向けに生活習慣病重症化予防事業を実施し、生活習慣病関連疾患の医療費低減に一定の効果が認められた。 本計画では過去3か年の健診・レセプト分析結果に基づき、若年層への展開やリスクを細分化した上できめ細かい事業実施などを検討する。 また、評価指標を定め継続的に事業の効果をモニタリングする。
東光高岳 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	5,688	35.3	8	11.50%	79.9%	35.4%	当健保組合では、「疾病の重症化予防」「疾病の発症予防」「医療費適正化」の3つの視点をコンセプトとして、データヘルス計画を策定している。 健康・医療情報の分析においては「レセプト管理・分析システム」を活用し、簡易に課題を抽出する。 また、保健事業の有用性を労働生産性で評価することで事業主との連携を強化する。
日産自動車 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	146,910	33.9	68	8.02%	78.0%	11.5%	重症化を予知できる仕組みを作り上げ前期高齢者と40歳以上の高リスク者で試行する。 その為に独自で選定した基準(40歳以上:10階層、前期:20階層)で実施して結果を検証する。 また生活習慣病リスクの低減を目的に支援型歯科検診を県歯科医師会と協働で実施する。 具体的にはスクリーニング調査を行い支援内容を情報提供、動機付け、積極的の3種類で行う。
日新電機 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	6,297	33.9	8	8.63%	92.5%	55.4%	高い健診受診率、各種ドック検査結果を用い、構築済みの労使三位一体体制で、以下の事業を推進 1)健診結果による要治療者への受診勧奨 2)選定基準を見直した後発医薬品促進通知 3)平成27年度事業の企画 ・生活習慣起因の脳疾患、心疾患等の発症予防 ・カフェテリアプランの効果測定 ・胃がんリスク結果による要治療者へのフォロー体制構築
日本航空 健康保険組合 (運輸業)	単一	74,780	37.9	85	9.00%	48.9%	0.9%	JALグループでは、特定の階層を重視した事業を重視することなく、健康な方から疾病リスクの高い方まで、あらゆる階層に対応した事業を実施していくことを基本方針としている。 事業内容としては、スマホを活用した健康情報の提供や行動変容(運動・食事等)のきっかけ作り(1次予防)、疾病リスクの早期発見のための健診受診率向上(2次予防)、健診・レセプトデータ分析により集团的傾向や個人々の疾病リスクを把握し、各リスクに対応した保健事業(3次予防)を優先順位を付けて実施していくこととしている。

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
日本生命 健康保険組合 (金融業、保険業)	単一	126,892	39.8	158	7.90%	72.9%	0.4%	レセプト管理・分析システムにて、特定した課題性の高い疾病について、次の視点でグルーピングを実施。 ・検診による早期発見が効果的な疾病(各種がん検診等) ・生活習慣改善が効果的な疾病(糖尿病等) ・後発医薬品への切り替えが効果的な疾病(アレルギー性疾患等) 更に、性・年代等の分析を加え、より効果的な保健事業の展開を企図。
日本中央競馬会 健康保険組合 (生活関連サービス業、娯楽業)	単一	6,355	39.3	25	7.40%	65.9%	73.8%	レセプト・健診データを基に現状分析を行い、A実施すべき保健事業の選定、B既存保健事業の再評価を実施する予定 A: 候補となる保健事業の効果を試算し、実施する保健事業を選定。 B: 昨年度に既存保健事業を定量的、エビデンスに基づく分析を実施して課題と判明し、保健事業として実施中の ①糖尿病性腎症重症化予防対策、 ②若年者層向けメタボ対策 の再評価を実施する予定。
日本通運 健康保険組合 (運輸業)	単一	114,119	33.8	175	10.10%	73.6%	48.7%	①重症化予防対策の実施: 従来より実施している高血糖者に対する受診勧奨を継続するとともに、新規に高血圧者に対する受診勧奨に取り組む。 ②データ分析の細分化・効率化: 全国規模で配置されている統括支店単位の分析が可能となるよう独自にシステムの改修を実施し、情報提供による健康意識の向上、効果的な保健事業の実施につなげる。
日本ユニシス 健康保険組合 (情報通信業)	単一	20,846	38.5	20	9.00%	71.1%	16.3%	重症化予防・未病者の生活習慣病予防に向けた施策を実施 ①30歳代の高血圧者に対する運動・食事指導 ②40歳時点で体重が10Kg以上増加した者に対する運動中心の保健指導 ③分析データ作成(レセプト×健診データ) ※事業主からの情報提供及びツール「疾病リスクチェック」を利用 運動指導を通じた社員のメンタルヘルスの改善
パッケージ工業 健康保険組合 (紙製品製造業)	総合	24,447	35.2	537	9.80%	62.6%	14.4%	未受診が医療費に与える影響が大きい、受診勧奨してもなかなか受診できない被保険者の状況がある。 参加を促す訴求力高い案内、興味を惹くような保健指導内容、事業主への働きかけで受診率を高める予定。 「行動変容アンケート共同調査」や「新しいタイプの受診勧奨」のノウハウを他の健保組合へ提供し医療費削減の一助としたい。
日立 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	548,317	36.8	313	8.70%	69.2%	6.0%	特定保健指導実施結果から、特定保健指導に限定せず、情報提供群から指導群への移行防止、受診勧奨域群・服薬群に対する悪化防止等が必要であり、事業主と連携し従業員に実証事業を実施する。 医療費・健診結果の単独・突合分析から、未受診者への受診勧奨、人工透析への移行防止策等、網羅的な事業実施をめざし計画策定を予定している。
福岡県農協 健康保険組合 (複合サービス業)	総合	16,943	34.0	32	10.85%	79.2%	51.7%	レセプト情報、健診結果情報を活用し、大学と連携をとり、「医学的見地」又は「スポーツ科学的見地」で傾向課題を抽出し、その改善にむけたデータヘルス計画を策定する。 実施については、事業主とのコラボヘルスを進め、効率的に行っていく。 取り組んだ事業全般については、様々な視点から評価を行い、課題が残る部分については、計画を見直す。 特に、当健保組合では、歯科検診の継続実施による効果及び有酸素運動の継続実施による効果について重点的に検証を行っていきたい。

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
フジクラ 健康保険組合 (金属工業)	単一	12,514	33.2	24	9.50%	84.0%	*指導対象者 数未把握	<p>コラボヘルスとしてすでに取り組みを開始しているフジクラ従業員向け施策の実証結果を反映させる形で、全組合員向け計画の策定を推進する。</p> <p>具体的には、健診結果とレセプト情報からリスク階層化し、リスクレベルに応じた保健事業を実施する。フジクラ従業員には日々のバイタル測定結果も反映し、より階層を細分化する。</p>
富士通 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	258,200	44.4	148	8.60%	76.9%	14.7%	<p>ハイリスク未治療者、コントロール不良者への早期介入を図り、疾病の重症化を予防し医療費の適正化へ繋げる。</p> <p>先進的な保健事業として「健康度を可視化するポイントプログラムの開発」を検討する。</p> <p>個人の行動評価、医学評価、医療費評価の指標を活用した、ポイントプログラムの開発検討を行う。</p>
みずほ 健康保険組合 (金融業、保険業)	単一	134,885	38.2	98	7.90%	62.2%	15.2%	<p>①現在まで当健保組合が進めている独自システムによるデータ分析に健保連が提供する分析システムの結果を加えて現状把握後、課題設定を行う。課題に対し学識経験者による検討後、対策及び数値目標を取りまとめて計画を策定する。</p> <p>②事業内容は当組合の課題から「生活習慣病対策」「がん対策」「ポピュレーションアプローチ」とする。</p>
三菱電機 健康保険組合 (機械器具製造業)	単一	235,301	37.2	130	8.30%	72.3%	54.1%	<p>レセプトデータ、健診結果、生活習慣及びストレス調査結果を基に、経年的に個人毎のデータを突合分析し、早期対応が効果的な高リスク者を抽出する。</p> <p>特に「糖尿病の重症化」「40歳未満の若年者」「前期高齢者」に対して、重点的にフォローを実施することで、早期介入と事業の費用対効果を高める。</p>
明治安田生命 健康保険組合 (金融業、保険業)	単一	67,987	40.0	20	8.20%	87.8%	52.5%	<p>定期健診・特定健診の結果とレセプトを突合し、高血圧・糖尿病・脂質異常症・40歳未満肥満の4リスクと医療費の関係を分析する。</p> <p>各ハイリスク者を抽出しリスク毎の介入費用と医療費の削減等を推計。</p> <p>実証事業ではハイリスク者1091人に対し、保健師による電話での保健指導・受診勧奨(糖尿病:セルフモニタリング)により介入する。</p>
雪の聖母会 健康保険組合 (医療、福祉)	単一	3,723	30.8	4	8.97%	81.6%	75.0%	<p><計画策定のプロセス> 計画を策定する事前準備として、データヘルス計画策定手順書を作成し、手順書に従い計画書の策定を行った。</p> <p><実施事項> 生活習慣病重症化予防対策 CKD含む 非肥満含む全年齢者を対象とする がん予防対策 がん対策推進基本計画に基づき実施する 前期高齢者医療費抑制対策 重複・頻回受診対策 健康経営</p>
ユニーグループ 健康保険組合 (飲食料品以外の 小売業)	単一	42,223	38.5	20	9.80%	82.6%	56.5%	<p>①【身体面】 「特定健診・保健指導」の事業主連携体制が推進基盤。 データ突合・分析、効果的な保健事業を策定・実施。 例、受診勧奨、重複・頻回受診指導、重症化予防など</p> <p>②【精神面】 「労働安全衛生法」ストレスチェックを事業主連携実施(産業医が鍵)メンタル予防体制構築。 重症化対応では、産業医連携で科学的サブツール活用(光トポグラフィ、fMRIなど)し医療費適正化と「傷病手当金」対策を目指す。</p>

保険者名 (業態)	基本情報							データヘルス計画
	形態	加入者数 (人)	平均年齢 (歳)	事業所数	保険料率 (%)	特定健診 実施率 (%)	特定保健 指導実施率 (%)	概要
ローソン 健康保険組合 (飲食料品小売業)	単一	12,998	31.1	6	7.80%	77.7%	39.5%	<p><保健事業の改廃と仮説検証></p> <p>① アクションチェックリスト(生活習慣確認)⇒質問項目の見直し</p> <p>② 健康診断判定プログラム(健康診断からリスクの見える化)⇒健診結果前回と今回比較</p> <p>③ 婦人科検診促進⇒Web申請導入</p> <p>④ データに基づく禁煙対策⇒喫煙者のレセプト分析</p> <p>⑤ 基幹システムで分析から実施項目と結果検証の紐づけ検討</p>
ワールド 健康保険組合 (繊維製品製造業)	単一	19,767	30.9	18	9.50%	88.0%	54.5%	<p>過去5年分のレセプトと健診データ等を分析。実現性の高い計画策定を行うため、健康課題の全体像把握をふまえた施策の優先度評価、過去施策の棚卸・評価、事業主との連携スキームを構築する。先進的保健事業では、データ分析結果から「女性の健康」に対し、スマホを活用した健康支援を行う。</p>
YKK 健康保険組合 (その他の製造業)	単一	36,686	33.6	19	9.10%	84.2%	52.0%	<p>特定健診の結果を細分化し、事業主と連携して対象者に応じたフォロー体制を構築する。(レセプト管理・分析システムを活用した当健保組合の特性を踏まえたハイリスク者への対策も含む)</p> <p>「健康度調査」を実施し、保健事業の評価・見直しに活用するほか、健診結果と合わせて健康維持者へのインセンティブ付与事業を計画する。</p>

全国健康保険協会 (大支部)	-	412,147 (H26.3現在)	36.6 (H24.9現在)	17,736 (H26.3現在)	10.08% (H26年度)	51.9% (H25年度見込)	26.0% (H25年度見込)	<p>レセプトデータと健診データの分析を通じて、40歳以上の被保険者を健康管理状況に応じて8つのグループに分類し、それぞれのグループの状況に即した保健事業を企画、立案し、勧奨する。</p>
全国健康保険協会 (広島支部)	-	1,015,661 (H26.3現在)	36.1 (H24.9現在)	43,809 (H26.3現在)	10.03% (H26年度)	42.4% (H25年度見込)	20.0% (H25年度見込)	<p>医療費グルーピング技術を有する外部業者への委託を通じ、疾病別、事業所別、業種別等の医療費分析を行い、事業所別の医療費や健診結果による疾病リスク等の診断ツールを作成する。</p> <p>事業所ごとの分析結果を基に、事業所の特性に即した保健事業を企画・立案し、個々人の状況に応じた健康増進活動の勧奨や受診勧奨を実施する。</p>

※ 協会けんぽでは、広島支部・大支部をはじめ、十数支部においてモデル計画の策定を予定している。

※ 概要に記載された内容は、各保険者において作成したものをまとめたものである。